高齢ドライバー 事故防止へ

車の先進技術紹介

崇城大 講演会

講演する崇城大工学部の斉藤弘順教授

高齢ドライバーによる交通事故を防ぐ自動車の先進技術を紹介する講演会が4日、熊本市西区の崇城大であり、同大工学部の斉藤弘順教授（熱流体工学）が演壇に立った。

斉藤教授は、高齢者の運転による事故の3割近くが操作ミスとする調査結果を提示。玉名市の企業が開発した、ブレーキとアクセルの踏み間違いを防ぐ器具「ワンペダル」や、事故発生時に自動通報するシステムなどを紹介した。その上で「安全運転を補助する技術は年々進化している。最後に大切なのは本人の意識」と締めくくった。

高齢者の運転を巡っては、神奈川県で今年5月、90歳女性の乗用車に歩行者4人がはねられて死傷した事故などをきっかけに注目が集まっている。県警によると、県内で昨年発生した交通事故のうち、約2割が65歳以上の運転手が起こしたものだったという。

（壇知里）

2018年9月6日　西日本新聞　P.18